

# タチカワレポート

## 第64期 中間報告

平成21年 1月 1日

▼  
平成21年 6月 30日



 **立川ブラインド工業株式会社**

証券コード：7989

## 経営者から皆様へ



家庭に、企業に、都市の中に。  
次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。  
インテリア産業の一翼を担う企業として、  
これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。  
さて、当社は平成21年6月30日をもって第64期（平成21年1月1日から平成21年12月31日まで）上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。  
今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。  
平成21年 9月

### 経営の基本方針

当社グループは、建築物の開口部、とりわけ窓まわり製品を事業の核とする建築内装品の総合メーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術、動力伝導技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、顧客の皆様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、一般消費者、取引先ならびに株主の皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

### CONTENTS

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
連結財務諸表（要旨）	5
New Products & Topics	7
ショールームのご案内	8
会社の概要	9
株式情報	10
株式についてのご案内	

## 営業の概況

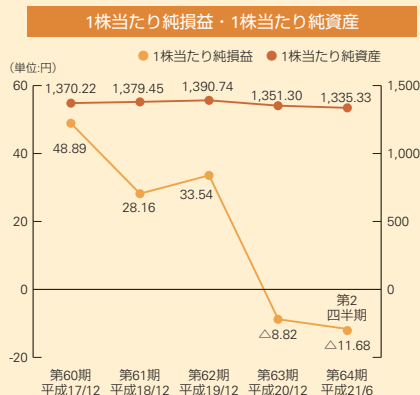
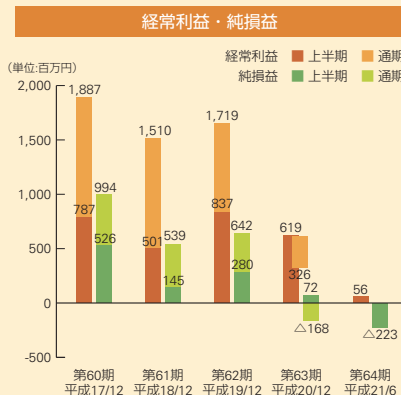
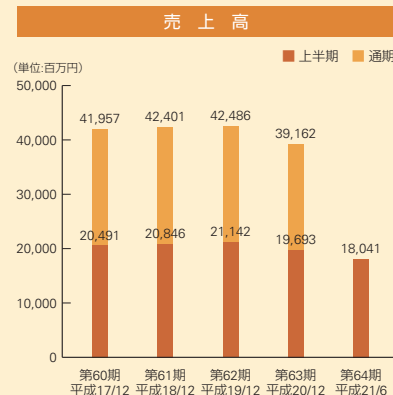
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な景気悪化の影響を受け、国内外の需要の低迷により企業収益が大幅に減少し、所得や雇用に対する不安の高まりなどから、引き続き個人消費が冷え込むなど厳しい状況のなかで推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においても、依然として民間企業の設備投資や新築住宅着工の低迷など、先行き不透明な状態が続く、当社を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業と減速機関連事業においては、積極的な営業活動による売上向上に努めるとともにコスト低減による収益改善に取り組んでまいりましたが、引き続き厳しい事業環境を強いられました。一方、駐車場装置関連事業においては、売上向上を目指し、成長路線を見据えた営業力の強化および先行管理による受注獲得や収益確保に注力してまいりました。

この結果、当該累計期間における売上高は18,041百万円、営業利益は8百万円、経常利益は56百万円となりました。また、四半期純損益については棚卸資産の評価に関する会計基準の適用に伴い、評価損210百万円を特別損失に計上したことなどから、223百万円の損失となりました。

## ■ 財務ハイライト



## 業績の見通し

今後の見通しにつきましては、個人消費の低迷に加えて景気の先行き不透明感などから、経営環境は予断を許さない状況が続くと思われまます。

このような環境の下、引き続き全社的なコスト削減に取り組むほか、売上向上を目指しあらゆるニーズに応える商品開発および拡販などに取り組んでまいります。

これらを踏まえ、通期連結業績の見直しを行った結果、売上高37,500百万円、営業利益850百万円、経常利益900百万円、当期純利益200百万円を見込んでおります。

## 中間配当金について

以上の通り上期業績は遺憾ながら純損失となりましたが、中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って、例年通り1株につき5円とさせていただきます。

尚、期末配当につきましても業績改善に努め、同様に1株5円、年間10円の実施を現時点においては予定しております。

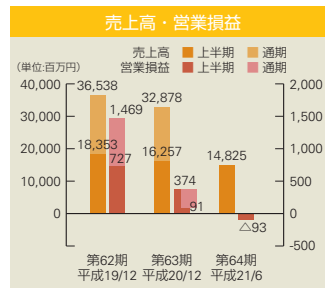
## セグメント別概況

### 室内外装品関連事業 14,825百万円

設備投資や新築住宅着工戸数が依然低調に推移している厳しい事業環境のなか、積極的に販促協賛活動を展開し、コスト低減活動にも努めたほか、インテリア業界における競争力の強化を目的に、株式会社ヨコタとの業務・資本提携を図ってまいりました。

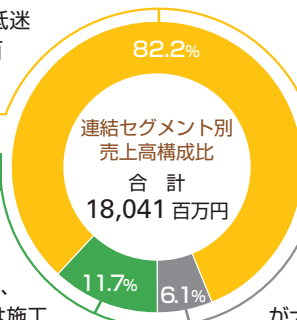
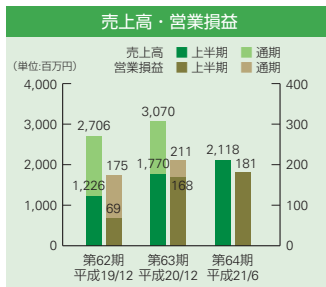
また、主力製品である「シルキー」のカラーバリエーションを刷新したのをはじめ、新タイプとして、操作性と意匠性に優れた「シルキーサート」、業界初となるスラット(羽)開閉時の電動操作に太陽電池を採用した省エネ対応製品「ウイंक ソーラ電池セット」を新発売したほか、その他既存製品にも新機能を追加するなど、商品技術開発に注力してまいりました。

しかしながら、個人消費および住宅投資の低迷により売上高は14,825百万円、営業損益は93百万円の損失となりました。



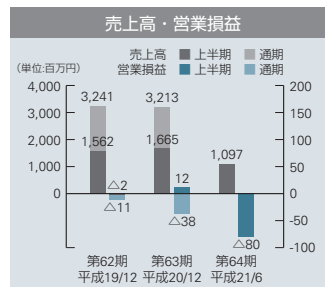
### 駐車場装置関連事業 2,118百万円

主力製品である「バズルタワー」の新規完工が一部下期以降へ繰越となったものの、改造・改修工事が計画より増加したことにより、売上高は2,118百万円となりました。営業利益は施工体制拡充等によるコスト上昇要因があったものの、売上高が増加した結果、181百万円となりました。



### 減速機関連事業 1,097百万円

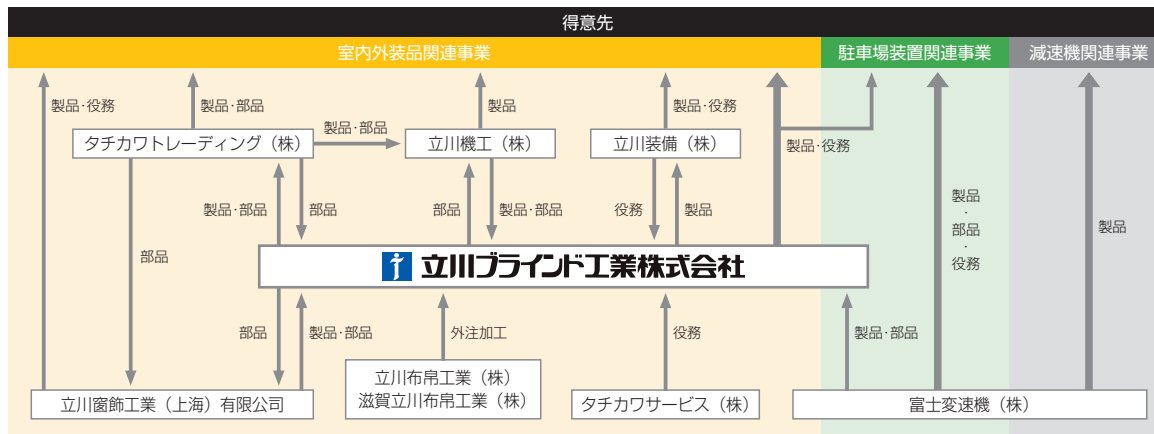
産業用機械向け販売を中心に、得意分野である特殊減速機の提案強化など積極的な営業活動を展開しましたが、前年度後半から受注が大幅に減少するなど厳しい事業環境が続く、売上高は1,097百万円となりました。営業損益はコスト低減に努めたものの売上高減少による固定費負担を補えず、80百万円の損失となりました。



## 当社グループの事業展開

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

### ■ 事業の系統図



（注）富士変速機（株）は名古屋証券取引所に上場しております。

### ■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市	本社所在地：東京都渋谷区	本社所在地：岐阜県岐阜市
資本金：3億円	資本金：3億円	資本金：25億750万円
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

### ■ 事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティーの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を追求する。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。

## 連結財務諸表（要旨）

### ■ 総資産

総資産は42,086百万円で、前連結会計年度末と比較し1,493百万円の減少。主に受取手形及び売掛金が減少したことにより流動資産が2,087百万円減少した一方で、有形固定資産の取得等により固定資産が593百万円増加したことによるものです。

### ■ 負債

負債は12,471百万円で、前連結会計年度末と比較し1,193百万円の減少。主に仕入債務が減少したことによるものです。

### ■ 純資産

純資産は29,614百万円となり、前連結会計年度末と比較し300百万円の減少。主に四半期純損失による利益剰余金の減少によるものです。

自己資本比率は60.7%と、前連結会計年度末と比較し、1.4ポイントの増加。

### ■ キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ81百万円減少し、6,387百万円。

#### 【営業活動】

897百万円の増加。税金等調整前四半期純損失178百万円に対し、売上債権の減少額2,088百万円等による増加があった一方で、仕入債務の減少額1,074百万円等による減少があったことによるものです。

#### 【投資活動】

869百万円の減少。主に、当社滋賀工場新生産棟建設、連結子会社である立川機工株式会社の新本社工屋建設等に伴う有形固定資産の取得による支出788百万円および投資有価証券の取得による支出118百万円等があったことによるものです。

#### 【財務活動】

119百万円の減少。主に、配当金の支払118百万円によるものです。

### 連結貸借対照表

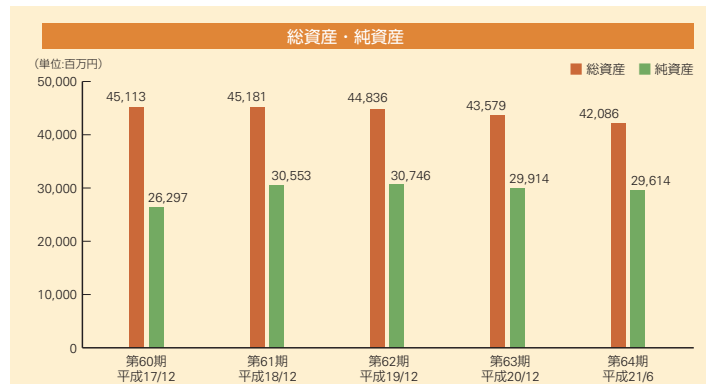
（単位：千円）

科目	当第2四半期 平成21年6月30日現在	前中間期 平成20年6月30日現在	前期 平成20年12月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	24,247,524	26,080,503	26,334,628
固定資産	17,838,537	17,308,160	17,244,976
<b>資産合計</b>	<b>42,086,062</b>	<b>43,388,663</b>	<b>43,579,605</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	8,656,979	9,192,920	9,925,720
固定負債	3,814,907	3,649,024	3,739,557
<b>負債合計</b>	<b>12,471,886</b>	<b>12,841,945</b>	<b>13,665,278</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	25,474,337	26,137,026	25,793,562
資本金	4,475,000	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,017	4,395,304	4,395,017
利益剰余金	17,442,735	18,098,504	17,761,736
自己株式	△ 838,415	△ 831,783	△ 838,191
評価・換算差額等	66,594	274,084	53,534
少数株主持分	4,073,243	4,135,608	4,067,229
<b>純資産合計</b>	<b>29,614,175</b>	<b>30,546,718</b>	<b>29,914,327</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>42,086,062</b>	<b>43,388,663</b>	<b>43,579,605</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当第2四半期 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで	前中間期 平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで	前期 平成20年1月1日から 平成20年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	897,633	1,135,545	1,260,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 869,476	△ 897,051	△ 1,152,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 119,137	△ 282,360	△ 335,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,664	△ 5,487	△ 37,737
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	△ 81,316	△ 49,353	△ 264,787
現金及び現金同等物の期首残高	6,469,150	6,733,938	6,733,938
<b>現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高</b>	<b>6,387,834</b>	<b>6,684,584</b>	<b>6,469,150</b>





## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期	前中間期	前期
	平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで	平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで	平成20年1月1日から 平成20年12月31日まで
売上高	18,041,836	19,693,744	39,162,995
売上原価	10,835,018	11,858,942	23,526,403
売上総利益	7,206,817	7,834,802	15,636,591
販売費及び一般管理費	7,197,948	7,280,298	15,372,577
営業利益	8,869	554,503	264,014
営業外収益	106,786	141,509	234,944
営業外費用	59,091	76,056	172,584
経常利益	56,564	619,956	326,373
特別利益	1,513	2,460	100,427
特別損失	236,485	41,756	134,428
税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失(△)	△ 178,407	580,660	292,372
法人税、住民税及び事業税	173,597	248,730	331,520
法人税等調整額	△ 151,094	200,718	75,257
少数株主利益	22,453	58,864	54,304
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	△ 223,363	72,346	△ 168,710

## セグメント情報 (平成21年1月1日から平成21年6月30日まで)

(単位：千円)

	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業
売上高	14,825,462	2,118,916	1,097,457
(前年同期比)	△ 8.8%	+19.7%	△ 34.1%
営業損益	△ 93,025	181,911	△ 80,016
(前年同期比)	—%	+8.3%	—%

## 注) たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益および経常利益は6,043千円それぞれ減少し、税金等調整前四半期純損失は216,804千円増加しております。

## ■ 営業成績の概要

昨年来の世界的な景気悪化の影響を受け、当社グループ関連の建設・住宅業界においても、依然として民間企業の設備投資や新築住宅着工の低迷など、先行き不透明な状態が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業と減速機関連事業においては、積極的な営業活動による売上向上に努めるとともにコスト低減による収益改善に取り組んでまいりましたが、引き続き厳しい事業環境を強いられました。一方、駐車場装置関連事業においては、売上向上を目指し、成長路線を見据えた営業力の強化および先行管理による受注獲得や収益確保に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,041百万円、営業利益は8百万円、経常利益は56百万円となりました。また、四半期純損益については、棚卸資産の評価に関する会計基準の適用に伴い、評価損210百万円を特別損失に計上したことなどから、223百万円の損失となりました。

## New Products & Topics

### New Products

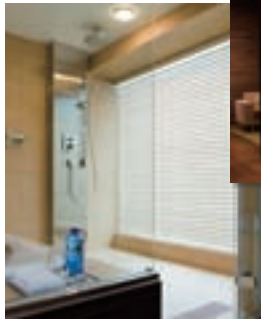


シルキー 5月発売

カラー・機能・デザインで選べる全287色をラインアップ。新たに太陽光の反射率を高める「遮熱コート」を追加。また、新タイプとして1本のチェーンでブラインドの昇降・開閉ができる『シルキーサート』、幅15cmから製作可能な『シルキー小窓タイプ』、太陽電池を採用した『ウインクソーラー電池セット』《業界初》を新発売しました。

木製ブラインド フォレティア  
センシティブブラインドアフタービート 5月発売

木製ブラインド「フォレティア」に新色2色、空間の個性がテーマのスタイリッシュなヨコ型ブラインド「アフタービート」に26色の新色が登場。また、キッチンや浴室など水廻り向けに『フォレティア アクア』、『アフタービート アクア』を新発売し、更に操作力を30%軽減（当社比）するとともに、間仕切り利用も考慮した両面操作のオプションを用意しました。



マカロン 3月発売

表紙の写真は、全30色のカラーバリエーションをラインアップした、プレーンでカラフルな新感覚のファブリック『マカロン』シリーズです。



## Topics

### ㈱ヨコタとの業務・資本提携に関するお知らせ

当社とカーテンレールのパイオニアである㈱ヨコタは、少子高齢化の進展による中長期的な新築建築物の減少と、インテリア業界における新商品開発や販売競争の激化に対応するため、業務提携の基本合意に至りました。

今後、両社が持つ各々の強みや技術、ノウハウを融合し、相乗効果とスケールメリットを新たに創出することにより、幅広い領域で提携効果が得られるよう具体的な検討を進めて参ります。

また、業務提携をより強固なものにするため、同社親会社の発行済株式の一部を既存株主から取得致しました。



## ショールームのご案内

# 銀座

シ ョ ー ル ー ム

JR新橋駅銀座口徒歩5分、銀座中央通り沿いにあるタチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネートのご提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。

東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル  
TEL (03)3571-1373  
定休日 日曜・月曜・祝祭日  
営業時間 10:00~18:00



### ディスプレイ

タチカワブラインドがおすすめするアイテムやコーディネートのご紹介をしています。

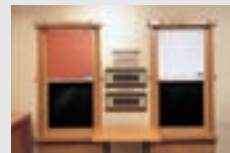


### ショールーム

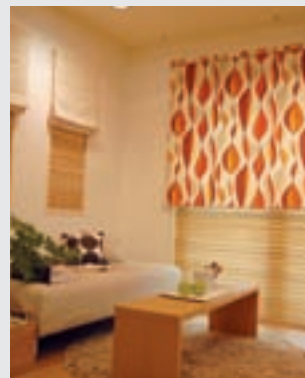
製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストイングウィンドウでは製品に太陽光を通したときの印象をご覧頂けます。お気軽にお声をおかけ下さい。



### コンサルティング



### テストイングウィンドウ



▲1Fのモデルルームで、窓まわりを中心としたインテリアコーディネートをご覧頂けます。季節ごとに様々なご提案をしています。

### ショールーム一覧

タチカワブラインドでは、インテリアや窓辺を楽しくセンスアップするためのアイテムを取り揃えて、いつでも皆様をお待ちしています。

仙台ショールーム 宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12  
TEL (022) 275-1311  
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

名古屋ショールーム 愛知県名古屋市西区児玉3-4-4 3F  
TEL (052) 532-5085  
定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

金沢ショールーム 石川県金沢市東力4-181  
TEL (076) 291-1146  
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00

大阪ショールーム 移転しますので、現在クローズ中です。  
新ショールームの開設は11月を予定しております。

高松ショールーム 香川県高松市木太町六区2662-1  
TEL (087) 837-2720  
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

## 会社の概要

### ■ 会社の概要 (平成21年6月30日現在)

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業(般-17)第5037号 建具工事業(般-17)第5037号 機械器具設置工事業(般-17)第5037号 建築工事業(特-17)第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話番号	(03) 5484-6100 (大代表)
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,221名 単体808名 (パート・契約社員等を除く)

### ■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン(横型)ブラインド、 パーチカル(縦型)ブラインド、 天窗用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーデオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

### ■ 連結会社

国内	
富士変速機株式会社	タチカワサービス株式会社
岐阜県岐阜市中洲町18	東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社	タチカワトレーディング株式会社
千葉県山武市松ヶ谷口2687	東京都中央区銀座8-8-15
立川装備株式会社	
東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社	
新潟県五泉市今泉709-1	
滋賀立川布帛工業株式会社	立川窗飾工業(上海)有限公司
滋賀県東近江市中里町470	上海市嘉定区葉城路1211

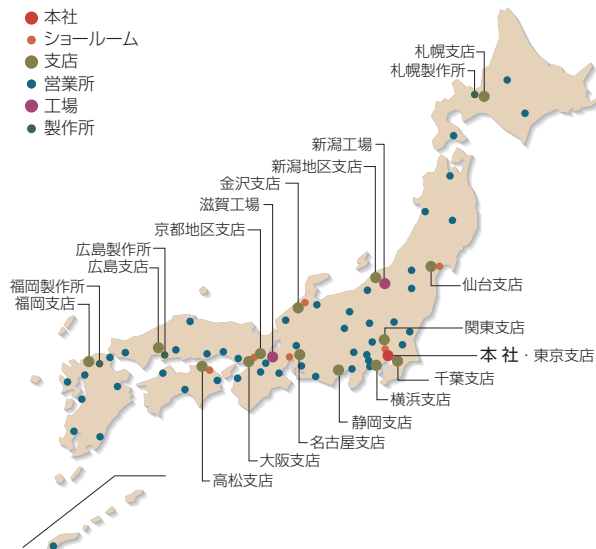
### 海外

### ■ 取締役および監査役 (平成21年9月11日現在)

代表取締役社長	立川 光 威
常務取締役	國米 利 政
取締役	竹中 伸 也
取締役	藤原 義 史
取締役	東澤 章 一
取締役	木田 敏 雄
取締役	山田 健 一
常勤監査役	細川 博
※ 監査役	高後 元 彦
※ 監査役	坪井 節 子
※ 監査役	守内 禎 誼

(注) ※印の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### ■ 当社ネットワーク



## 株式情報

## ■ 株式の状況 (平成21年6月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	5,281名

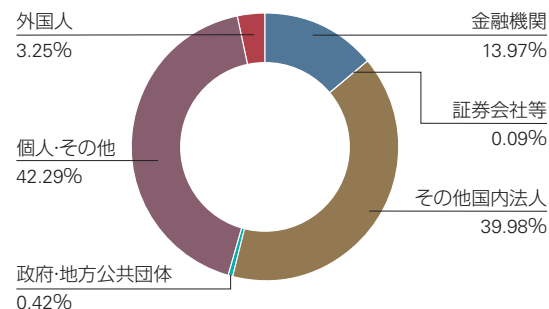
## 大株主および持株数 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
有限会社立川恒産	4,117	21.58
タチカワブラインド取引先持株会	1,972	10.34
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.98
立川 溥	613	3.21
株式会社三菱東京UFJ銀行	553	2.90
タチカワ社員持株会	531	2.79
三菱商事株式会社	470	2.47
株式会社りそな銀行	460	2.42
株式会社みずほコーポレート銀行	425	2.23
日本生命保険相互会社	415	2.18

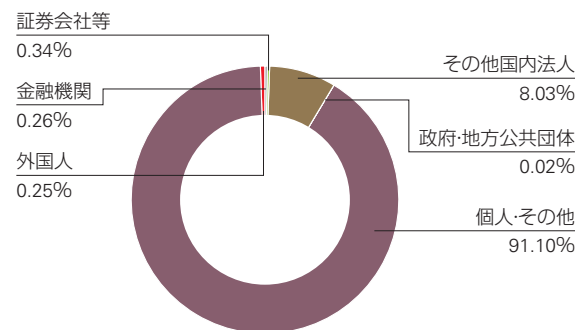
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

(注) 2. 当社は自己株式1,636千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

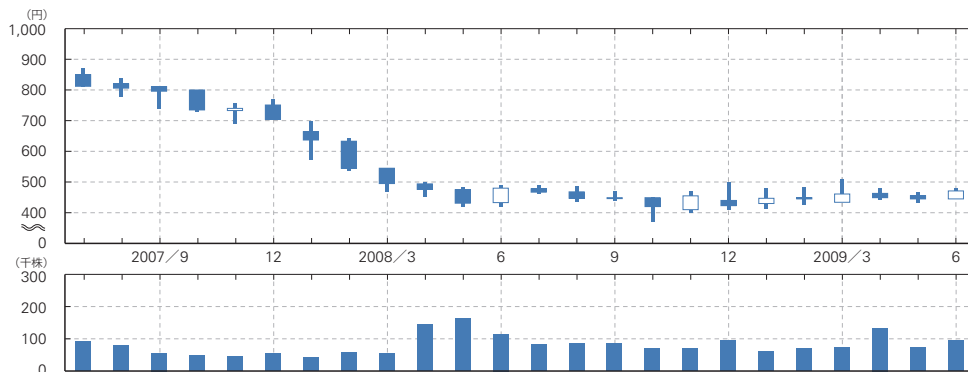
## ■ 所有者別持株比率



## ■ 所有者別株主比率



## ■ 株価および出来高の推移



## 株式についてのご案内

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日
剰余金配当基準日	12月31日（期末配当） 6月30日（中間配当）
公告方法	電子公告によります。 公告掲載URL <a href="http://www.blind.co.jp/koukoku/">http://www.blind.co.jp/koukoku/</a> ※事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座管理機関	日本証券代行株式会社
単元株式数	100株

### 登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。  
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

### 配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。  
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株） 代理人部へお問い合わせ下さい。

### 未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

### 単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。  
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

### 特別口座から一般口座への振替申請手続きについて

特別口座の口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。  
注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

### ■ 郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711（フリーダイヤル） ホームページアドレス <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>

### ■ 特別口座に関する郵便物送付先・お問い合わせ先

特別口座の口座管理機関
〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843（フリーダイヤル） ホームページアドレス <a href="http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html">http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html</a>